

# 市民活動ニュース

第105号

2010年1月

## 2010年 今始まる バリフタウンへの幕開け

バリフタウンという言葉、新鮮な響きです。それもそのはず当地亀山で産まれた新語です。社会には、年齢、言葉、身体の特徴、まちのつくり等、さまざまなバリア（障壁）があります。それらが多いほど住みにくいまちだと言えるでしょう。それらのバリアを少しでも取り除いてバリアフリーのまちづくりをしていこうと「めざそうバリフタウン」と表現しました。

昨年夏の市民活動講座「バリフタウンへの第一歩」を契機に、来年(2011年)の秋に車椅子レクダンスの全国大会の開催地が亀山市に決定し、その準備に向け動き出しました。この大会のメインは車椅子レクダンスですが、広く福祉に関わる市民活動団体の参加により、大会を盛り上げたいものです。

従来、西野公園体育館の床では、車椅子ダンスができませんでした。これは管理上のバリアによるものでした。それが「めざそうバリフタウン全国大会」準備委員会の働きにより可能になりました。

この全国大会は、バリフタウンへと動き出した亀山を全国の人たちに見ていただける好機です。バリフタウンという言葉に恥じないよう、亀山から心のバリア、物理的なバリア、管理上のバリアを少しでも無くすようにしていきましょう。

今年の秋以降、準備委員会では西野公園体育館で、「めざそうバリフタウン全国大会」のプレ大会を開催する予定です。今まさにバリフタウン亀山をめざした動きは始まっています。



バリフタウン全国大会に向けた実行委員会

### 1 / 9 車椅子社交ダンス初級養成講座

と き：1月9日(土)午後1時～5時  
ところ：社会福祉センター3階ホール  
講 師：車椅子レクダンス普及会 理事長 黒木 実馬 氏  
対象者：三重県内在住者  
受講料：3,000円(テキスト代・入会費含む)  
\*お申込みをお待ちしております。  
連絡先：車椅子レクダンス普及会 亀山支部  
TEL 090-4265-2047(渡辺)

## 障がい者が働く・集う・情報共有の場 ～喫茶店づくりを～

ぽっかぽかの会は、7年前に障がい児の親が中心となり、障がいに対して理解し協力してくださる方との話し合いの場として誕生しました。

障がいを持った子ども(人)たちやその保護者たち誰もが安心して働ける場・憩いの場を築き、自立した社会生活が送れるようにしたいと、今、『喫茶店づくり構想』を進めています。その喫茶店では、障がい者・健常者のわけ隔てがない、人と触れ合い、心の安心が得られる温かな場となるよう願っています。喫茶店として営業するため、現在、県のプロジェクトである「美し国おこし・三重」のスタッフから指導を受け、専門的な助言や協力団体と連携を取りながら活動しています。喫茶店づくりにあたっては、活動場所の提供、喫茶店で使える物品の提供など市民の皆さんからの支援をお待ちしております。



連絡先：ぽっかぽかの会 TEL 83-4956 (浜野)

\*関連記事が、次ページにあります。



## 市民交流の日 レポート 11月21日(土) 9:30～11:30 市民協働センター「みらい」

### テーマ：みんなでできる市民活動 こんなことはじめませんか？

- ・ 11月19日に彦根の市民活動を見てきたが、公的支援は乏しく、地域の大学教授や学生、高齢者が頑張っていた。
- ・ 亀山みそ焼きうどんは、地元産物で作れたらもっと良い。
- ・ B級グルメ仕掛けの活動の会は、全国展開に備え「亀山みそ焼きうどん本舗」と改名した。
- ・ 亀山みそ焼きうどんはメディアの関心も高い。地域おこしの材料として活かし、今こそ一気に全国的に売り出していきたい。
- ・ 若い人を市民活動に巻き込むには長期でなく短期目標を決め一気に盛り上げるのが効果的。
- ・ 草刈りなどして、堤防から鈴鹿川に遊びに行ける道を作りたい。そして、車は入れないようにする。そうすれば、子どもたちが遊べるようになる。
- ・ 関地区は、積極的にイベント参加をしているように思う。
- ・ 古代に関所があった関に関所ミュージアムを造ったら集客ができるのではないか。
- ・ 観光で賑わう関宿だが、駐車場料金を取るなどして経済が成り立つ観光名所にしなければならない。
- ・ 関宿の観光駐車場の横に無料の足湯もつくられたので、その隣にある木村邸を休憩所として使うのではなく、地産物をNPOが販売する場所にはできないだろうか。



1月21日(木)のテーマ：今どきの「愚」を語ろう(こんなものいらない、改革しよう)  
午後7時30分～9時30分です。

**どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。**  
～ 輪を広げましょう! (^o^) ～

## 1/23, 2/6 人と人の絆をつくる交流会に参加しませんか? 「美(うま)し国おこし・三重」

とき・ところ：1月23日(土) 午後1時30分～4時30分.....津センターパレスホール  
2月 6日(土) 午後1時30分～4時30分.....三重県伊賀庁舎大会議室

ゲストトーク：【津会場】元ギャル社長 藤田 志穂 氏「若者をつなぐ力」

【伊賀会場】地域づくり総務大臣表彰受賞者 河田 珪子 氏「ご近所付き合いの輪」

\* 申込み必要、定員100名程。参加費は、無料。

連絡先：「美し国おこし・三重」実行委員会 TEL 059-224-2644 FAX 059-224-2075

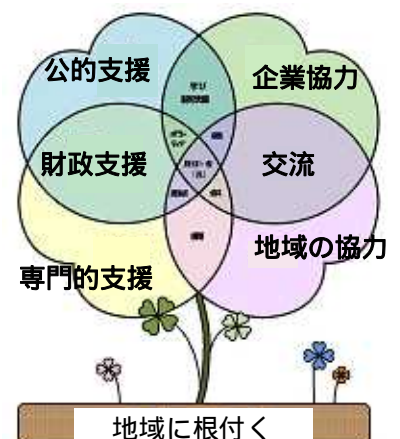
## ぽっかぽかの会が目指していること

ぽっかぽかの会では、親子の交流・情報交換・悩み相談...と時間を共有して交流を深めています。

各種イベントには、会員さんの手作りパン・クッキーの販売などで、小さな社会参加をしております。

障がい者がまちで生きるためには、人とのつながり、公的支援、企業の協力などの受け皿が必要で、様々な情報が入手でき、活用できるという環境が必要だと思っています。そして、安心を得たいです。

私たちは、障がいがある誰もが、能力に応じた就労の場を得ることができ、いつも生き甲斐を持って、このまちで地に足つけた生活が送れることを目指し願って活動しております。



障がい者が地域で生きるために  
～こんなクローバーを育てよう～



## あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に、市民活動を始めたきっかけやこれから活動を始めの方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

**今月は、劇団「CAME」の岩間 匠 さんです。**

平成16年から2年に一度開催している亀山市文化会館の自主運営事業の宝塚歌劇団OGと市民参加型ミュージカル公演の中から、劇団「CAME」は平成19年に設立しました。

亀山に新しい文化の風を起こそうという心意気で子供から大人まで、市内を中心に鈴鹿市や津市、四日市市から約30人が集まりました。

そして、亀山市に所縁のある『ヤマトタケル』を題材に、白鳥伝説という作品を作りました。より多くの市民の方たちに、ヤマトタケルを知って頂き、亀山の古代伝説に触れていただければ良いなと活動しています。

今まで市文化会館で公演したり、今年の秋には関の馬子唄会館で、星見の会の活動に参加して公演したり、関宿街道まつりの仮装行列にも参加しました。また、総勢50人の文化箏(こと)の華音さんに生演奏をしていただきながら白鳥伝説を披露するなど他の文化団体とも共演しております。

現在、この白鳥伝説の公演をDVD化して、公共施設や各学校に配布して、より多くの人に理解してもらおうと市との協働事業に取り組んでいます。

来春の市文化会館自主事業で、2010年バージョン『白鳥のみささぎ』の最終公演をしますが、新たに環境をテーマにした『川は生きてる』という脚本を作成中です。

子どもから大人まで誰でも参加できて楽しめるミュージカル劇団です。興味のある方、ご連絡をお待ちしております。

問合せ：TEL 090-1412-4703 岩間



「みらい」で練習



関宿街道まつりの仮装行列に参加



市文化会館での公演





## イベントからのレポート

### 「亀山あるこうかい」紅葉の加太越え



天候に恵まれた11月29日、JR柘植駅に集まった亀山あるこうかいを中心とする75名のみなさんは、伊勢と奈良の都を結ぶ街道として栄えた“大和街道の加太越え”を歩くため、元気良く加太峠に向かって歩き出しました。沿道には昔の面影を残す集落が続き、明治20年頃から建っているレンガ造りの鉄道橋、開発で大きく崩された痛々しい山々、紅葉の錫杖岳、かつて蒸気機関車があえぎながら登った急坂など眺めながら歩きました。お昼

ごろには加太の川俣神社に着き、昼食をとりました。銘木の連なる鎮守の森などは美しく、季節を変えて、また訪ねたい場所です。最後に、大和街道の昔の面影を残す梶ヶ坂(かじがさか)旧道を歩き、JR加太駅までの10kmを全員が歩きました。  
( 亀山あるこうかいクラブ 伊藤幸 )

### エコサイクリング 秋空の下を走る



亀山は坂の多い町です。でも、自転車をもっと活用しましょう！何よりエコロジーだし健康にも良いです。ときには歩いたりしながら、なかなかいけない場所を訪ねてみよう企画したのが「エコサイクリング2009秋」です。

11月29日、東野公園に集まった16名は、一列になってまず川崎地区の古戦場「峰城跡」に向い、戦国時代の激戦をしのびました。次に地域の皆さんが作り上げたアジサイの名所「穴虫の郷」に立ち寄りしました。「穴虫の郷」は、秋は何もありませんが、場所もわかったので来春には気軽に来ることができそうです。目的地の安楽川の隠れ名所「逆さ川」は、高さ10mの絶壁を紅葉が彩ります。ここで暖かい日差しを浴びながら昼食の後、出発地に戻る17kmを走破しました。今回のような企画をこれからも適時計画しています。(エコサイクリング世話人 奥田)

### 元気づと大いに語る！！



12月12日、古い着物を再利用したミニ着物作りや子どもたちの防災意識を高める活動、全国的な災害救助など多彩な活動をしているNPO災害ボランティアネットワーク鈴鹿の理事長 南部 美智代さんの講演会が「みらい」で行われました。

南部さんは、阪神大震災や中越地震、桑名での震災で救助にあたった経験談を披露し、NPO活動にとって必要なのは、“お金ではなく人のつながりである”と語りました。また、自分たちの避難所を家族で確認して欲しいと言われました。受講者は、非常時に便利な新聞で簡単に作れる臨時スリッパの作り方も学びました。

受講後、南部さんから一筆描きのかわいらしいコースターのプレゼントがありました。

( 市民相談・協働推進室 木崎 )

## 市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談・協働推進室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)  
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp  
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成 : 「きらめき亀山21」広報部 (問合せ先 : 亀山市市民部市民相談・協働推進室 〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)  
市民活動ニュース配置場所 : 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター (津市)  
ホームページ <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>  
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。